

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

(令和3年後期)

◎秋の叙勲 瑞宝単光章

佐々木洋吉 様 (榎山共和町)
原田 福夫 様 (榎山石塚町)

◎全国民生児童委員連合会会長賞

瀧澤 文雄 様 (榎山南中町)
佐藤 秀一 様 (榎山登町)

◎秋田県警察

秋田中央署防犯功労者表彰
伊勢谷順一 様 (榎山南中町)

◎秋田市社会福祉功労者

秋田市社会福祉協議会会長表彰
京屋 均 様 (榎山本町)
三浦 隆一 様 (榎山川口境)

地区への「」篤志

(令和3年8月〜令和4年2月)

〇「」芳志

1万円
高桑 博 様 (南通みその町)

会務報告

令和3年9月〜令和4年2月

9月1日 「築山社協だより第60号」を発行し、民生委員、町内会長を介して全世帯に配布

9月1日 75歳以上の敬老会該当者1349人に町内会長の協力を得て、商品券及び手指消毒液の配布を開始

10月下旬 地区内の老人クラブ、福祉関係諸団体、子育て支援施設等に助成金を贈呈

11月10日 秋田市社会福祉協議会表彰状・感謝状授与式(市文化会館で開催)に当地区2名の被表彰者が出席
11月20日・21日 「軽スポーツの集い」を榎山コミセンで開催

定期総会の開催予告

令和4年度の築山地区社会福祉協議会の定期総会は、左記のとおり開催します

日時 4月23日(土)午後2時
場所 榎山コミュニティセンター

記

※新型コロナウイルスの感染収束が見込まない場合は、令和3年度と同じように書面議決方式で審議させていただきます。

11月26日 「築山社協だより編集委員会」を榎山コミセンで開催

11月27日 「避難所運営に係る説明会」(榎山コミセンで開催)に会長ほか出席

12月1日 「地域歳末たすけあい運動」の推進

12月中旬 「秋田市社協だより」の配布準備作業を実施

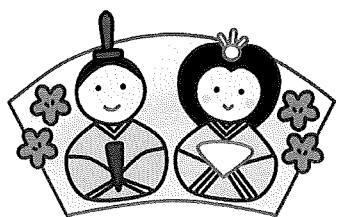
12月21日 「榎山地区コミュニティセンター」避難所運営会議設立総会及び第1回会議」に京屋副会長が出席

12月26日 「地区歳末たすけあい配分」を開催し、歳末たすけあい運動の善意を地区内の要援護世帯等へ一律5千円を民生委員を介して配布。地区の福祉施設に果物を贈呈。

また、75歳以上の一人暮らしの高齢者・80歳以上の高齢者のみの世帯にお茶を持参し激励訪問を開始

1月26日 「市社協事務担当者研修会」に会長と京屋副会長が出席

2月上旬 「市社協Bブロック地域交流研修会」はコロナ感染拡大を受け中止



◆編集後記◆

新たなコロナ感染者ゼロが県内では二十日以上も続き、このままこのままと思っていたら、オミクロン株が……。ワクチンを接種していてもかかるうえいつ、どこで、誰かと考える間もない急激な広がりに、またもや耐える生活に逆戻りかと、心は沈みがちになった▼でも気持ちが明るくなる話題が。千秋公園の旧県民会館跡に建設中の県と秋田市の新文化施設「あきた芸術劇場」の外観が姿を現した。愛称は『ミルハス』。フランス語で「千」を意味する「ミル」と千秋公園のハスを組み合わせて命名した。6月5日の開館記念式典では、「大いなる秋田」が演奏されるというから楽しみだ▼新たな役割を担う新劇場の登場に思いをはせた時、私事だが社協だよりの編集委員をこの61号をもって退任し、後輩に託すことにした。この十余年、地区の皆様には大変お世話になった。地元をより深く知ることができ、とても勉強にもなった▼地区社協の活動は、少子高齢化の中で多様化している。今後もお手伝いできることがあれば力を惜しまないが、まずは義時が登壇するNHK大河ドラマを堪能したい。(北條 晃)

編集委員

北條 晃
加藤 俊悦
鈴木 夏代
京屋 均

対策徹底の下、児童ら元気に



この2年余り築山小学校ではマスク、手洗い、換気などが当たり前になってきています。コロナ防止策が徹底される中、児童らは元気に学校生活や校外学習に励んでいます。例えば、町探検(右・1・2年生)、環境学習(右下・4年生)、マラソン大会(左・1年生)、まんたらめ体験学習(左下・5年生)など。教職員や保護者の方々の気の抜けない日々は続きます。

コロナ禍における

学校生活について

秋田市立築山小学校
校長 大友 智加司

三 給食

・十分な換気と消毒に努めます。
・座席は対面にせず、黙食します。

四 行事等

・入学式、学習発表会等は限られた家族が参加します。
・校外学習、修学旅行は感染状況を極めながら全学年で実施しました。因みに修学旅行は仙北市宿泊で、見学先は田沢湖・平泉等でした。
・儀式的行事や集会等はテレビ放送で行います。

以上のように、今は「学校の学びを止めない」ことが優先されています。また、竿燈まつりや敬老会等、地域の中で自分自身を成長させる機会をつくることのできない状況がともに残念です。

築山地区社協様をはじめ地域の皆様には、登下校の見守り活動や温かいお声掛け等大変お世話になっております。また、今年度も児童育成費を頂戴いたしました。本校の教育活動に有効に役立てていきたいと思っております。結びになりますが、地域の皆様のお力をお借りし、ご健勝をお祈り申し上げます。(令和3年12月寄稿)

第61号

令和4年3月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦
(題字: 茂林 憲子)

築山社協だより

令和3年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学校園・諸団体の皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

No	町内会名	日赤会費	赤い羽根	歳末募金	社協会費	No	町内会名	日赤会費	赤い羽根	歳末募金	社協会費
1	宮田	48,000	49,000	18,200	50,400	39	登町東部	15,000	39,400	5,720	15,840
2	JR宮田自治会北	10,000	10,000	8,000	21,600	40	登町中央部平和会	10,000	11,000	4,550	12,600
3	イーストハイム宮田	10,000	21,000	4,550	11,520	41	登町西部	24,000	28,800	6,240	17,280
4	築地北町	18,500	17,800	3,120	8,280	42	亀ノ丁栄町	7,000	11,000	2,080	6,120
5	築地東上町	15,000	17,200	3,510	10,080	43	餌刺町	40,500	30,000	10,000	23,760
6	築地窪町	9,000	12,800	2,400	6,480	44	九郎兵衛殿町	23,900	21,500	5,590	15,480
7	築地上本町	24,000	28,800	6,110	17,280	45	笹町	21,200	21,200	8,320	23,040
8	築地下本町	20,000	20,000	4,550	12,960	46	三枚橋町	36,600	48,600	7,930	21,960
9	築地中町	11,000	11,000	5,000	18,000	47	愛宕下東丁	7,500	12,000	1,950	5,400
10	築地西町	8,500	10,200	2,210	6,120	48	愛宕下西丁親交会	28,500	31,800	5,590	14,760
11	築地睦会	1,000	1,000	0	1,000	49	愛宕下南丁	10,000	12,000	2,600	7,200
12	榎山本新町上丁	10,500	20,000	4,940	13,680	50	愛宕下北丁	18,000	22,200	4,810	12,960
13	榎山本新町下丁	34,000	36,000	7,150	19,800	51	愛宕下中丁	13,500	16,200	3,510	9,720
14	榎山上本町	10,000	18,000	5,000	10,800	52	城南町	26,000	28,000	8,450	22,680
15	榎山本横町	6,500	17,000	3,000	8,640	53	金照寺山	11,500	11,000	10,000	12,600
16	内木町	17,000	17,000	4,420	12,240	54	榎山寺小路北部	7,400	5,300	1,700	11,880
17	榎山本町下丁	9,500	11,400	2,470	6,840	55	榎山寺小路南部	10,000	11,000	5,000	13,680
18	榎山古川新町	10,000	75,600	16,380	47,160	56	城南みなみ	8,000	15,000	5,000	10,400
19	百石橋通り	12,500	15,400	2,500	6,840	57	榎山石塚谷地	6,000	24,000	5,000	14,400
20	柘取町親睦会	10,000	24,800	4,290	11,520	58	榎山(大元町)	68,000	87,000	25,000	36,000
21	末無町	25,800	31,200	8,840	23,760	59	榎山石塚町	29,500	33,000	11,700	32,400
22	医王院前町	18,900	19,300	5,590	15,120	60	榎山石塚新町	51,000	48,000	20,000	57,600
23	榎山広小路	6,500	7,800	7,800	9,360	61	太田町本町	8,500	14,500	1,300	3,600
24	榎山虎ノ口新町	21,000	28,100	10,010	27,360	62	太田町山水会	8,100	16,200	3,640	9,720
25	南新町	100,000	100,000	26,000	72,000	63	太田町東部	6,000	14,000	3,900	10,800
26	森林管理局第一	8,500	9,600	2,210	6,120	64	太田町睦会	4,000	7,200	1,560	4,320
27	太平	8,000	9,600	2,080	5,760	65	太田町栄町	8,000	9,000	1,950	5,760
28	牛島橋通町	7,200	41,000	7,800	21,600	66	太田町南町	12,000	15,000	3,120	8,640
29	牛島橋通り南部	13,500	16,200	3,510	9,720	67	太田町新町	12,100	20,200	3,510	9,720
30	榎山共和町	7,000	8,400	1,820	5,040	68	太田町旭町	11,500	15,200	2,860	7,920
31	榎山下浜町	17,000	23,000	7,670	20,880		町内会合計	1,224,200	1,612,600	420,380	1,104,360
32	川口境西部	14,500	19,500	3,770	10,440		秋田南中学校生徒会		13,125		
33	登町南部	43,000	51,600	11,180	30,960		築山小学校児童会		10,115		
34	川口境東部	49,000	57,000	8,970	24,840		城南園		1,500		
35	若草団地	10,000	30,000	13,000	36,000		3団体老人クラブ		48,000		
36	入川橋	16,000	19,800	4,290	11,520		その他	10,000			
37	十軒町	10,000	14,200	2,860	7,200					3,240世帯	3,066世帯
38	米沢町	10,000	13,000	2,600	7,200		総計	1,234,200	1,685,340	420,380	1,104,360

コロナ感染は、敬老会祝宴の中止など令和3年度もさまざまな事業に影響を及ぼしました。地域の福祉活動を共に支える民生児童委員協議会、町内会長連絡協議会などの活動への影響も少なくありませんでした。この1年の地域諸団体の動きを寄せてもらいました。

見守りは密を避けながら

★民生児童委員協議会

コロナ禍であっても毎月7日の定例会は、欠かさず開いています。委員同士が地域の情報を共有し、日々の活動に役立てるためです。

基本となる見守り活動ですが、友愛訪問、安否確認にコロナの影響を受けました。本来なら65歳以上の高齢者については、一人暮らし、老夫婦を問わず定期的に訪れて、健康状態や悩み事がないかなど話を聞くことにしています。しかし、「3密」は避けなければいけなくなり、安否確認は電話でとなりました。必要があつて訪問した場合でも、玄関には入らず外での対応が求められました。工夫しながらの見守り

俳句や書道など児童生徒活躍

★市民憲章推進協議会

明るく豊かなまちづくりの実践を目指す秋田市民憲章のもと、毎年緑化コンクールや児童生徒作品コンクール、全市一斉あいさつ運動などを展開しています。しかしコロナの影響もあり、緑化(花壇コンクール)への参加は取りやめとなり、あいさつ運動は中止となりました。そうした中、作品コンクールでは築

ですが、各委員は懸命に取り組んでいます。一方で、中止となった事業も少なくありません。一つは秋田市民児協の総会です。市内の小中学校学区単位で組織された地区民児協の民生児童委員が一堂に会し、全体の事業活動を定めるだけでなく講演を通じて各自のレベルアップを図る場でもありました。また例会における市保健所、市保健課との協議会でもできませんでした。地区内の

コロナ禍のこの1年

制限受けつつ活動

地域団体

山小学校児童が俳句部門で秋田市PTA連合会長賞に輝いたほか、俳句、絵画、書道の部門で8人が優秀賞や優良賞、入選に。秋田南中学校生徒は書道で優良賞、入選に一人ずつ選ばれました。軽スポーツの集いへ助成しており地域の融和に努めています。

食と健康のお話を聞く

★保健推進委員会

例年行っている料理を作りながらの健康教室は、新型コロナのため出来ま

情報をより細かく把握している市担当者との意見交換は大切です。民生児童委員の活動をより身近に感じてもらうための5月の街頭PRも中止でした。しかし相手を思いやる心は決して消えることはありません。今後も全力で取り組みます。

束ねる町内会長さんへ感謝

★町内会長連絡協議会

新型コロナによって社会生活は大きく制限されました。子どもの築山小学校学区内の68町内会長さんで組織する町内会長連絡協議会も総会、新年会等多人数で集まる会合は開催できませんでした。新たに就任した町内会長さん

せんでした。しかし「食と健康のお話会」を市保健所と市保健予防課の職員を講師に招き開催。食事でできる貯筋術、健康寿命などを学びました。軽スポーツの集い、グラウンドゴルフ、フロアカーリングなど地域でのイベントやサークルへは、従来通りに活動への助成を行うことができました。全般的にコロナの感染拡大が響き、もどかしく感じた一年でした。今後はコロナの推移を見極めつつ他団体との合同企画の充実を図りたい考えです。

だけでなく、経験を積んだ会長さんにとつても、一堂に会しての情報交換は大切な場であるだけに残念でした。しかしコロナ禍であっても地域内のイベントや情報物の配布、各種募金など地域活動は変わりなく、進めてきました。町内会長さんには本当にご苦労をかけており感謝にたえません。今後も地域への協力、活動の柱です。また秋田市の地域づくり協議会や小学校統合検討委員会には、伊勢谷順一筆頭幹事や田口学副会長が参加し、地域のために尽力しております。

再結成し組織率増を目指す

★自主防災連絡協議会

令和2年2月、町内ごとに設けられている自主防災組織の連絡協議会が再結成されました。しかし新型コロナの感染が拡大し、総会は資料を各防災隊長に配布し、書面表決に替えることになりました。いまだに各隊長さんと顔を合わせた会合が開けないでいます。最近はおミクロン株が脅威ですが、来年度には総会を開き、各種訓練も実施できることを願っております。

現在、築山学区町内会の中で自主防災隊を結成しているのは40町内余りで組織率は約6割です。近年は異常気象による大雨などの自然災害が頻発しており、こうした災害に備えた避難訓練、火災時の初期消火訓練、AEDによる救急救命講習は必修です。自主防災隊が全町内に設置されることで防災意識が行き渡り地区の安全安心が強くなります。組織率アップに努めます。

地域の善意を届ける

令和3年度歳末たすけあい募金

共同募金が行う募金活動の一つ、歳末たすけあい募金は、令和3年度、地域の皆様から総額42万380円が寄せられました。多くの方々の善意に深く御礼申し上げます。

築山地区共同募金会では、昨年12月26日に榎山コミセンで配分会を開き、社会福祉協議会の定める配分計画に基づいて、対象となる個人や施設などを決定し使わせていただきました。

一つは生活困窮世帯、母子・父子家庭（いずれも生活保護受給者を除く）、65歳以上の寝たきり高齢者らで、地域内の12世帯へ一律5千円をお届けしました。

また地域内にある秋田婦人ホーム、川口デイサービスセンター、グループホーム「かんとろ」、居宅介護事業所「ならやま」、あきた児童デイサービスセンターの福祉関係5施設には、それぞれりんごごみかんをセットにして贈りました。各施設とも大変喜ばれました。

煎茶で高齢者を激励訪問

さらにこの歳末たすけあい募金の一部を活用して、高齢者の見守り活動を実施しました。対象は75歳以上の一人暮らしの方、80歳以上の高齢者のみの世帯です。築山地区全体で510世帯となりました。民生委員と町内会長が煎茶を持参し、「新型コロナウイルスは新たな変異株が出てきて油断できません。冬場は閉じこもりがちですが、健康に留意して乗り切ってください」と声をかけ激励しました。

対象となる人たちの中には、冬の時期施設入所やデイサービス利用、あるいは子どもたちの家に長期滞在など自宅を離れるケースが増えています。その分きめ細かな対応が求められることになり、地域で寄り添う活動に尽力してくださる方々に感謝申し上げます。

これら地域活用分を除いた残金21万9295円は、全額秋田市共同募金委員会へ送金させていただきました。



寄せられた地域の善意を分け合うため計画に基づいて対象となる方々を決めた配分会

赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金運動への協力に感謝します

今期は、昨年同期よりも新型コロナウイルスの感染が緩和されたとはいえ、新たな変異株の出現などにより予断を許さない状況での募金活動期間を迎えました。

民生児童委員及び各町内会長の皆様それぞれ感染防止対策を万全に講じて、「赤い羽根共同募金」及び「歳末たすけあい募金」の集金・納金にご尽力ください深く感謝いたします。

また、地域の皆様や各企業及び商店等の方々から、今期も多大な善意のお気持ちをいただきました。心からお礼を申し上げます。

さらに、「老人クラブ（築山寿会・一ツ森クラブ・榎山クラブの3団体）」の皆様からも格別のご協力をいただきましたことに厚く感謝いたします。

そして今年度も、城南園の職員・園児の皆さん、築山小学校及び秋田南中学校の児童生徒と教職員の皆様からも大変ご多様な中、お手数をおかけいただきました。地域の子どもたちによる共同募金運動への取り組みを、教育活動の一環として児童会や生徒会が主体となつて好意的に活動してくださることを大変嬉しく存じます。

皆様からご協力をいただいた善意は、「秋田市共同募金委員会」に全額納入された後、「秋田県共同募金委員会」で集約され、その一部が地区への

配分金となり、次年度の敬老会開催などの地域の福祉活動の貴重な財源となります。（募金実績は第七面を参照）

特に、「歳末たすけあい募金運動」は、民生委員が把握された生活困窮世帯や激励訪問対象世帯、地区内の福祉施設などに、当該町内会長・福祉協力員の皆様からもご協力を得ながらこの事業を推進させていただきました。各募金運動にご協力をいただきました皆様に深く感謝とお礼を申し上げます。

（築山地区共同募金会）

日赤会費への協力に感謝

新型コロナウイルスの感染が始まって、三回目のお春が来ました。依然として世界中の人々が悩まされています。そうした中において二〇二一年度「赤十字活動資金」への皆様の変わらぬご協力に心から感謝申し上げます。▼秋田ではこの二年の間に幾つかの病院や施設で集団発生がありました。しかし関係者や組織内の方々の懸命な努力で克服し、通常の業務を回復することができました。▼その過程で二つの側面を報道で知りました。一つは医療で不足している面が洗い出され、組織的なバックアップが図られるようになったこと。二つ目は病院や施設で働いている人たちに、外部から心ない言葉が浴びせられたことです。▼お互い支え合つて生活していること、自分が言われたらと思うことを胸に刻みたいものです。

（日赤秋田市地区築山分区分長 妹尾弘）

歯、口の健康で介護予防

清潔 鍛錬 食事のバランスも大切

要介護一歩手前の心身の衰弱を「フレイル」と言います。介護予防への取り組みとして今注目されているこのフレイルを、「サロン・ならこみ」では、秋田市特定健診課の協力の下、榎山コミセンで3回にわたる講座を開きました。高齢者の日常生活へのアドバイスの数々を紹介しました。

フレイル特集

マイナスの悪循環を断とう

コロナ禍で外出が減っています。そのため①歯のかむ力、のどの飲み込む力が衰え気味な高齢者は、食事の楽しみが減り栄養不足に伴って体力や気力が下がります。②低栄養状態では筋力が落ちるだけでなく、判断力など脳の働きも悪くなり転倒、骨折の心配も。③このため外出による人との交流を避け、閉じ込めりになって心身の衰弱が進行します。

衰弱が進めば食事もおろそかになり、栄養不足、閉じ込めり…と、次々に①②③の悪循環を繰り返す状態になり、やがては要介護を招きます。この負の連鎖を断ち切る必要があります。

介護を必要としない健康な生活を過ごす長寿を全うするために、心身の衰え（フレイル）を予防する取り組みが求められます。その第一歩が①の歯や口の健康なのです。

誤えん性肺炎を防ぐには

まず歯磨きです。磨き残しのないようにし毎食後に行います。歯垢には1日に1億個の細菌がいるといわれており、歯と歯の間だけでなく義歯も外して洗浄します。留意したいのは「舌の汚れ」です。毎朝起きてすぐに、舌ブラシを舌の奥から舌先へやさしくかき出すように10回行います。口内の細菌増殖を抑え口臭の予防にもなります。

お勧めは、お口の「パ・タ・カ・ラ体操」です。パ、タ、カ、ラとはつきり発音することです。おでこに手を付



要介護にならないために数々の対策を学んだ参加者たち

歯や口の状態チェック

質問項目	点数
半年前とくらべて固いものが食べにくくなった	はい 2 いいえ 0
お茶や汁物でむせることがある	はい 2 いいえ 0
義歯を使用している	はい 2 いいえ 0
口の渴きが気になる	はい 1 いいえ 0
半年前と比べて外出の頻度が少なくなった	はい 1 いいえ 0
さきいか、たくあん位の固さの食べ物がかめる	はい 0 いいえ 1
1日に2回以上は歯をみがく	はい 0 いいえ 1
1年に1回以上は歯科医院を受診している	はい 0 いいえ 1

判定（合計点）

2点以下	オーラルフレイルの危険性は低い
3点	オーラルフレイルの危険性あり
4点以上	オーラルフレイルの危険性が高い

3点以上になった人は、歯医者さんにご相談ください

出典：東京大学高齢者総合研究機構 田中友規 飯島勝夫

「さあにぎやかにいただく」

次は低栄養の改善です。和食の基本は「汁三菜」です。主食（ご飯）に主菜（肉類）、副菜（野菜類）、副菜（海藻類）と汁物（味噌汁）を加えた食事を1日3食の中にとることが理想です。講座では、10食品群に分けて紹介されました。それが「さあにぎやかにいただく」です。

【さ】魚【あ】油脂類【に】肉【ぎ】牛乳・乳製品類【や】野菜類【かに】海藻類【い】芋類【た】卵【だ】大豆製品【く】果物【す】縦の項目に10食品群、横の項目は日付としたマスのカレンダーを作り、その日食べた食品にチェックを入れます。一覧表にすることで栄養のバランスが一目瞭然になります。

講座ではアンケートによる生活相談も。参加者は、フレイルに対する認識を新たにしていました。



軽スポーツの集いが榎山コミセンで開かれた。コロナ禍での運動不足と気分転換が狙い。東京パラ五輪の競技「ポッチャ」も楽しんだ。(11月20、21日)



川口デイサービス利用者の折り紙、小物入れなど手作り作品が、榎山コミセンに展示され訪れた人たちに喜ばれた。(11月12日～19日)



歳末たすけあいで寄せられた善意を基に、グループホームかんとう(上)をはじめ区内の福祉5施設に、りんごとみかんが贈られた。(12月)

気持ちよく見るまちの動き



築山小学校の通学路上に「ゾーン30」が設けられた。車は最高速度時速30kmに規制。雪解け後は特に要注意。(9月以降)



秋田南中学校の3年生50人が、小雨の中太平洋川の百石橋～牛島橋をクリーンアップ。地域貢献活動の一環。(10月25日)

地域活動

「サロン・ならこみ」のクリスマスお楽しみ会を榎山コミセンで開催。カードによるもしバナゲームや三味線に合わせた民謡合奏を楽しんだ。(12月17日)



中通地域包括支援センター 幸ザ・サロン

管理者 竹内 さおり

高齢者のさまざまな悩み、相談に対応

秋田市内には、地域包括支援センターが18あります。その一つが「中通地域包括支援センター 幸ザ・サロン」で、担当区域は中通、南通、榎山です。同センターは、高齢者やその家族、あるいは地域の福祉関係者らが、高齢者の介護や医療、保険、福祉など日常生活の中で悩みや困り事がある際に支援を行う相談窓口です。

例えば「介護保険の要介護認定を受けたのだが」「介護予防サービスとはどんな内容か」といった高齢者本人からの相談。「離れて住んでいるひとり暮らしの親が心配」という家族の悩み。「見守り中の高齢者が自宅で転んで歩行が不自由となり買い物に難儀している」という民生委員からの通報。「食事や掃除、買い物などの介助をしているが、認知症の疑いが」というケアマネージャーさんからの連絡。など様々なケースがあります。

こうした事例すべてが、中通地域包括支援センターで扱ってきた実例ではありませんが、秋田市内や県内、全国での研修を通じて情報交換し合い、あらゆる要望に対応できるように努めています。現在スタッフは、保健師、社

地域に根を降ろして 令和3年を振り返る

会福祉士、主任ケアマネージャーなどの資格者ら6人です。高齢化が進む中で、高齢者が抱える悩みや相談は幅広くなっています。でもどこに話を持っていけばいいのかわ

からない、という方々は少なくありません。包括支援センターは、そういったときに役立つ存在です。しかしここ2年、未経験の毎日。コロナです。

この1年、コロナ禍で活動に制約

新型コロナウイルスが皆様の生活に大きく影を落としたように、令和3年は私たちの活動も色々な制約を受けました。相談支援業務の中で、どう感染を防いだらいいのか、感染予防のために外出や交流を控えていることで、地域の皆様が健康や体調面で心配な状況になっていないか、など考えさせられた年でした。

ワクチン接種で、ウエブや電話での予約がうまくいかないという相談があ

りましたが、その後予約、接種とも無事に終えたと伺い、ホッとしました。半面、会えたり話せたりができない状況が続く、孤独感が強くなった方、我慢している内に身体が弱った方、意欲が減退した方など目の当たりにしたこともあり、コロナの一日でも早い収束を願わずにはいられませんでした。嬉しかったのは、榎山コミセンで開かれたサロン活動でした。地域の人た

ちができる限り集まり、コロナ禍にあっても元気にという企画に、当セン



スタッフ一同、笑顔でお迎えます。

皆様のお声によって地域づくりや困りごと、相談の解決を図っていく、という基本姿勢は変わりません。要望によっては、当センターから出向いて行う出前講座も行っています。皆様の声に耳を傾け、思いに添えるように努めたいと思います。気軽に利用いただきたいと思います。

皆様の声に耳を傾け、思いを添う

これからも活動には様々な制約が伴うと考えています。しかし、地域の皆様のお声によって地域づくりや困りごと、相談の解決を図っていく、という基本姿勢は変わりません。要望によっては、当センターから出向いて行う出前講座も行っています。皆様の声に耳を傾け、思いに添えるように努めたいと思います。気軽に利用いただきたいと思います。

